

南箕輪村大芝高原森林づくり協議会第1回現地検討会

会 議 名 称		令和5年度 南箕輪村大芝高原森林づくり協議会 大芝高原現地検討会
開 催 日 時		(第1回) 令和5年11月19日(日) (第2回) 令和5年11月26日(日) 開会：午前9時 閉会：午後12時30分
開 催 場 所		南箕輪村 森の学び舎及び大芝高原内
会 長 氏 名		岡野 哲郎
出席者氏名		別添「出席者名簿」のとおり
事務局氏名		別添「出席者名簿」のとおり
会 議 事 項	次 第 1. 開 会 2. あいさつ 3. 現地検討会について (1) 現地検討会について (2) 現地確認 4. 大芝高原森林アンケートについて 5. 閉 会	会議結果
会議経過		別添「協議会の経過要領及び発言者の発言趣旨」のとおり
会議資料		・ 令和5年度 南箕輪村大芝高原づくり協議会大芝高原現地検討会 次第 ・ 現地検討会で話すこと ・ 高原内森林状況図面(2種類) ・ 村民アンケート(意見集約修正後)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
原副会長 岡野会長	【１．開会】 ９：００ 原副会長開会 【２．あいさつ】 ・ 既存基本計画との位置づけが難しいと考えている ・ アカマツの伐採は進めざるを得ないと考えている ・ その中で一時的に森林の機能は低下する ・ それを後ろ向きにとらえるかどうか、私は前向きにとらえている (第２回目) ・ 先週は時間がおしてしまいました、見るということをメインにお願いします ・ 現地での意見交換が目的です ・ わからないことは聞くというようにしましょう 【３．現地検討会について】 (１) 現地検討会について ○ 事務局説明(資料 現地検討会で話すこと使用) - 現地検討会の目的及び当協議会の役割説明 (２) 現地検討会(現地での主な意見) ○ みんなの森への歩道脇(樹幹注入説明) ① 大径アカマツへ施工する場合の費用が大きい ① 人へのワクチンと一緒に完全に防除できるものではない ○ １．森の入口 ① 道沿い１０メートルくらい刈り払いをしている ② 入口としては暗い感じがしたが、②、③の部分を間伐すれば明るくなるのでこのままでいい ② 空中散布で松くい虫対策は実施しないのか ② 入口なのに暗いイメージ ② 子供を連れてくると怖いと言われることがある ② 車いすで通ることができる道が増えると利用の幅が広がる ③ コアジサイはあえて植えたものか ○ ２．混交林 ① 小面積実施が良いのでは、下層を傷めない工夫が必要 ① アカマツ伐採後は、少し空間がありすぎてさみしい感じになる ① 保残木は業者に伝える ① アカマツ伐採は大面積で実施するとウルシ山になってしまう ① 伐採時の集材路の必要性についても考えるべき ② アカマツ林は下層があって明るいことは理解できる ② 歩道沿いの枯損木は早急に伐採する、また枯木であることを標示する ② 木の名前がわかるといい。子どもと来た時に役に立つ ② 山菜とりゾーンの設定は反対 ③ オオタカの営巣も続いている ③ サンコウチョウやクロツグミなど他ではなかなかみられない鳥がいる

	③ 鳥のさえずりは森林を五感で感じてもらう上で非常に重要ではないか。 ③ 鳥の声が安心感を与えている。無音だと森を歩くのが怖く感じるのでは ③ 昔はリスがたくさんいて歩けば見ることができたが今はだいぶ数が減った ○ 3. ヒノキ林 ② うっ閉したら間伐を実施していく。 ② 定期的に間伐をすれば良いヒノキ林になると思う ② ヒノキ林の下層のコケのある状態は視覚的には面白いが管理が難しい ○ 4. 松枯れの単木的处理 ① アカマツ・ヒノキの複層林であり単木伐採時の損傷は少ない ① 順次被害木を伐採するときに下層木を考慮した扱いが必要 ① 伐採を依頼する方(行政)が利用方法をいろいろ考え依頼することはダメ ① 依頼された業者も様々な利用のノウハウがあるから両方で構築するのがよい ① 枯損木伐採時に傷ついたヒノキも伐採するよう指示すべき ② 落枝の危険がありセラピー歩道沿いの単木処理は必須 ② 生きているうち、高値のうちに切るべき ② 単木的处理のために伐採するのなら、そのエリアはすべて伐採すべき ② 切ることに抵抗がある人もいるので理解を得られていないのに切るのか ○ 5. R4伐採地(保残○) ① 保残木伐採の指示はきちんと行うべき ① 他の場所では保残木を指示して伐採しても下層は様々な種が繁茂している ① 伐採時に傷ついたヒノキを残してもあまり意味がない ② ヒノキの葉が広がっていくため間伐が必要 ② 残すヒノキは大径木化しそれ以外を切り広葉樹を育てる ② 伐期齢を決め、少しずつ切っていくべき ② 下層植物を残す伐採方法は景観的な観点から見てとても良い ○ 6. R3伐採地(保残×) ① ⑤と比べると景観的にはあまりよくない ○ 7. R2伐採地(保残◎、特伐) ① 業者が独自に保残木施業を実施し3年経過した場所、現状は下層の生長が盛ん ① 下層が育った時のことを考えるとヒノキはもう少し伐採しても良かった ① 理想的なエリアだが、すべての業者がこのような伐採をするのは無理がある ② この箇所をモデル的にして現地でパネル等を標示した方がよい ② 広報の看板を子どもたちが作るのもいい、それを見るためにまた森に来ることも考えられる ② キイチゴは残しても良い、他の雑草を絶やす側面もある ② 「何年にどこのエリアを切る」というエリア設定をしっかりとやる必要がある ③ 今日のように森や木の話聞きながら歩けるとおもしろい ③ 一般の人にもわかるように広報が必要。話して歩ける機会があってもいい ○ 8. アカマツ樹下植栽 ① 陽樹のアカマツの下層植栽は上下逆が否めない ① 上層にこのくらいの空間がある場所ならある程度育つのでは
--	---

	② 抵抗性アカマツはあまり意味ない ② しっかり成長してほしいと思う ○ 9. R 4 皆伐地・植樹祭 ① 天然更新も含めるとかなりの成立本数となる、今後の管理の検討が必要 ② クロモジなど広葉樹を育てるならヒノキの間伐を進めるべき ② 広葉樹のエリアとして造林していくべき ② ゆくゆくは多種多様な森として体験ゾーンの的なエリアにしてもいい ③ マンネンスギが生えている、商業的にとっている人がいる ○ 10. アカマツ小屋 ② アカマツ小屋の利活用を考える ② 立派な小屋なので資材、道具置き場にはもったいない ② セラピー体験で寝ころびをやっている ② いまはアカマツ小屋周辺だが数か所あるといい ② イスが林内に散らばっていて休めるといい。イスは低すぎないものもいい ○ 11. アカマツ・広葉樹林、刈り払いあり ① 明るい林ではあるが、これがいい林かは議論する必要がある ① 他地域の事例でアカマツの衛生伐（被害木を含む不用木を伐採・除去する）は効果がある ① 林内に入りたくなるようなきれいなエリア ② アカマツを切るだけでよいのでは ② 人が入るところは刈り払いを、入って欲しくないところは藪にする等ゾーニングを ○ 12. アカマツ・広葉樹林、刈り払いなし（学校林） ① アカマツ林は明るいので、下層も育つが刈り払いはまずい ② 下層の広葉樹を育てる、初期段階の上層の被圧木の除去が大事 ② 学校林は子供の意見を聞く、大人の意見をメインにしない ② ここは平地林で子供が係わることが大事な山 ② 更新伐を進めるための方法をきちんと決める（他ポイントでも発言あり） ② 子供達に活用方法を考えてもらうというのもあり ② 学校林は、そこで得た収入等を学校にいれて活動を豊かにすることが本来の姿である ② 学校林も平地林で利用できる場所は稀なのでぜひ活かしてほしい ② ヒノキが生えているところをどうするか考えるべき ② 伐って、（売って）、植えて、育てるサイクルが必要 ② 樹齢は若いが入り込んでいる ② 弱い木を切り、残す木を健康に育てていかないと松枯れが増える ② 藪で利用者に評判はよくない ② 5年ほどすると中層木が育つ。 ② 広葉樹の成長待ちエリア。あと 10 年ぐらいはそのままでもいい ○ 13. 林望台 ② 周囲の広葉樹が成長しており扱いを検討する ② 計画を見直し見てわかるものにしなければならない
--	---

	② 鳥の巣、鳥、動物を誘導し観察する場に ② 林望台を野鳥観察の拠点に活用してはどうか。 ② 鳥用ならナラ・ミズナラか、シラカバは寿命が短いのであまりよくない ② 林望台北西のコケは、セラピーの寝ころび体験で使った ② 歩道から少し離れ、森感があってよい ② ササの処理も必要 ② 枯れ木を残すのも案としていい ② 広葉樹の大径木は伐る ② コナラのすきまにスズメバチの巣ができる ② 案内板などがあればいいと思う ○ 14. 道沿いの特伐 ① 育樹祭実施箇所の除伐作業は必要ない ② 道沿いは特伐でよい ③ 道沿いの伐採した切株は何か使えないか ③ マツぼっくり投げの的に使用した ③ 切株を登り下りして、運動器具にしている人もいる ③ セラピーロード内に数か所いい匂いの場所があってよかった ○ 15. アスレチック ② 枯損木、衰退木の除去を優先する ② アカマツを使った遊具を設置してはどうか ② ベンチが少し古い感じがしたので交換してみても ○ 16. マレット ② 一番厄介、皆伐が厳しいので当面は枯損木をその都度切って処理していく ② 林床が固くなるためマレットの場所を一時的に移動させ休ませたらどうか ② アカマツを伐採した後、日よけのスペースが必要だと思う ○ 17. マウンテンバイク ② 被害木の処理は必要であるが当面はこのままでよい ② ヒノキの間伐は必要 ② 施業は休止中であるが道路沿いのアカマツは処理が必要 ② 樹種も豊富のため、森林整備を学ぶ研修フィールドにしてみてもどうか ○ 18. 工業団地の川沿い ○ 19. キャンプ場 ② テニスコート側の日よけは必須 ○ 20. アカマツの湯の外 ② 被害木を伐りながら混交にしていけば？ ② 高木の広葉樹を植える ② 花木の植栽で良いのではないかと（カエデ類） ② アカマツの後も常緑樹の方がよい ② ヤマモミジ等の中高木層があれば、広葉樹でもよいのでは ② 風情の問題
--	--

意見 会長 事務局 会長	○ 21. 芝生の広場 ② 樹勢が良ければ抵抗性がある、大事に守ることもあり ② 選木しなくても、広場のアカマツは残せるのではないか ② シンボルツリーを残す。(急いで伐る必要はない) ② 園路沿いのアカマツが込み入っている ③ ステージの有効活用 ③ 屋外フェスなどイベントができればいい ○ 伝達事項 ・ 今日の感想をこちらでもメモにとったが、メール等でもかまわないので意見・感想等を提出してください 【4. 大芝高原森林アンケートについて】 ○ 第1回 ・ 問1について、エリアごとに使用頻度を聞くようにした ・ 場所がわかるようにA4の地図を添付するようにした ・ 問3・4について、伐採の方法ではなくて被害について聞き、利活用するということがどのくらい周知できているのか聞くことにした ・ 問8表現を変えた ・ 26日の意見と個別にも意見を聞き、最終的にもう一度確認する ・ 子供達からアンケートを行ったらどうかという意見があったが、今回のアンケートには組み込まない ・ 子供達の意見も重要な要素だと思っている、過去の状況を調査して検討 ○ 第2回 ・ アンケートの最終確認、構成の順番を変更した、問3を複数回答に変更 ・ 問4・5の質問を分かりやすくという意見があり、事務局で再検討 ・ 委員に確認のメールを送ったうえで発送 【意見交換（第1回）】 ・ 今すぐにも切って利用した方がいい ・ 伐採の費用をどうするかは村が検討すればいい ・ 収入として入ってくるお金は大芝の再生に利用する ・ 悠長な時間を過ごしている場合でない ・ 切るということはもう決まっている ・ 判断をしっかりとって頂ければいい ・ 計画ができるまで従来通りのやり方でやるのが普通 ・ 今年度は安全対策ということで農道沿いの伐採を考えている ・ 行政としてもしっかりとやり、財産として残るようにしていきたい ・ 予算規模を踏まえて今回の実施計画を立てていかないといけない ・ 5か年の計画ができたとき数値目標が必要 ・ 協議会で合意形成を図り現実に即した計画を立てる
--	--

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨「①施業 ②将来の姿 ③その他 に関する内容」)

	【4. 閉会のことば】 12：30 閉会
--	------------------------------------